

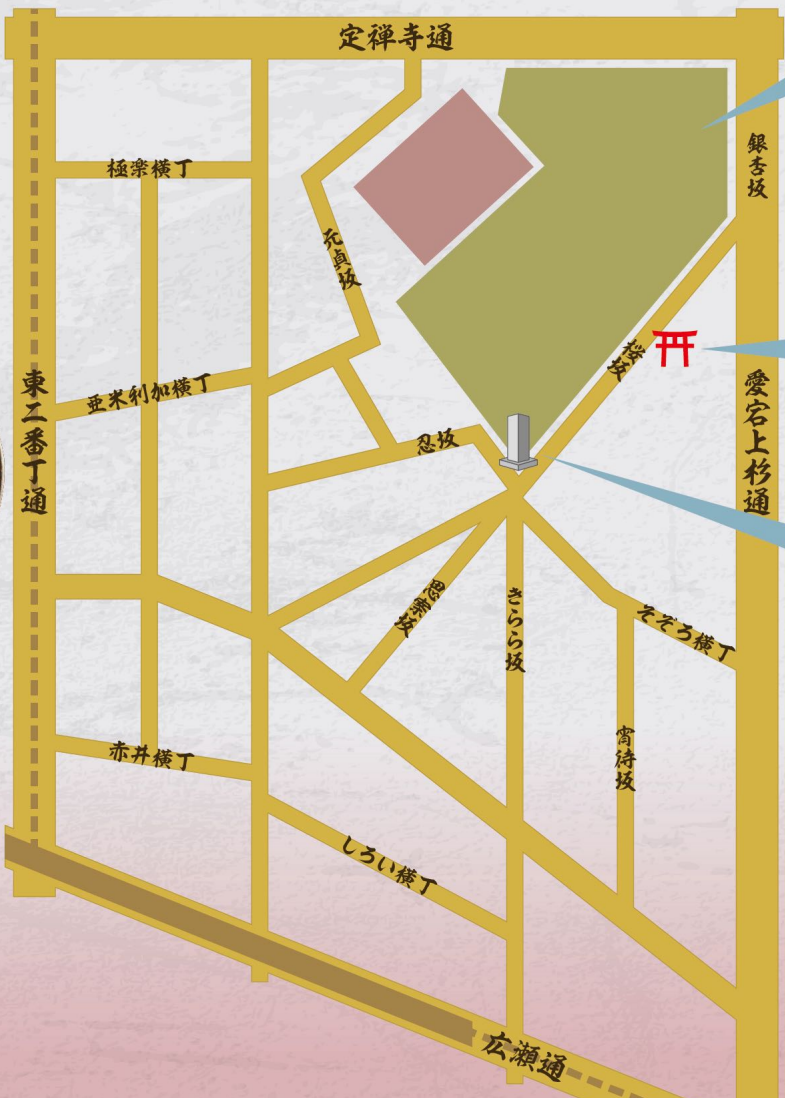
本町商店街

松尾芭蕉
 ところで支倉様、この本町商店街と涌谷町が協力して独自のお米を作っていることはご存知ですか？

支倉常長
 もちろん存じている。この取り組みは今後も続けていくとのこと。今年の新米も楽しみですな！

松尾芭蕉
 そうですねえ。そしてお米といえばお味噌汁、この商店街の謎も味噌樽が描かれた看板が手がかかりそうですねえ。この商店街でお味噌屋さんといえばここですが、そのような看板は見当たりませんか

松尾芭蕉
 それなら、広瀬通沿いで見た記憶がありますぞ。まずは通り沿いを歩いてみましょう！



錦町公園

春には花見の名所として賑やかになるなど季節ごとに様々な催しが行われ市民の方々に親しまれています。平日はこの付近で働く人のランチポイントとして、休みの日は親子の遊び場や発表会の練習の場として賑わいます。また、8月には本町夏祭りを開催し、豪華賞品付の盆踊りコンテストや、子ども花火、模擬店などで毎年盛り上がっています。

本町七坂五横丁

本町2丁目を縦横斜めに錯綜する道には、それぞれ歴史に裏打ちされた名や、稚氣に富んだ発想から生まれた名がつけられています。錦町公園が造られたときに、本町の住民の切なる願いによって植樹された桜の木から名づけられた「桜坂」。かつてアメリカ文化センターへと通じた道だから「亜米利加横丁」。大学予備校へと歩く学生さんたちの心中を汲んだ「思案坂」。元貞という名の医者が住んでいた「元貞(げんてい)坂」。道ごとに、異なる個性、異なる味わいを持つ本町界隈になんとも似合いのネーミングです。

瀧澤神社

火伏の神・水と滝の女神「瀬織津姫」を主祭神とし、学問仲りの和歌三神、住吉神明・柿本人丸(柿本人麻呂)・衣通姫(玉津嶋明神)を合祀しています。厄除開運や他のご利益があります。

辻標

仙台城の城下町だった仙台市中心部には、歴史ある町名や通名が数多くありましたが、時代の流れによってそれらが次々と新しいものになっていきました。そんな歴史ある町名を忘れないように立てられたのが、この「辻標」です。仙台市の市制施行88周年記念事業のひとつとして、昭和52年から平成6年にかけて88基の「辻標」が建てられました。

みそだる いか うえが かんぱん さが かんぱん
味噌樽が五つ描かれた看板を探せ。看板と以下の図を見比べて、矢印の先にある文字を上から読め。
 いかに ず みくら やじるし さき
 もじ うえ よ

本町商店街の謎の **答え**

「約束の場所」を示す「最後の謎」は二十二頁にあります